

年度 2008 学期 後期	曜日・校時	木曜・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学(脳の機能と学習力) Human Sciences (Brain Function for Learning)			
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室		
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 鈴木 保巳 /Eメールアドレス: ys11@nagasaki-u.ac.jp / 研究室:教育学部・鈴木(保)研究室 /TEL: 095-819-2385 /オフィスアワー: メールにて時間を確認の上入室下さい。				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: <ul style="list-style-type: none"> ・脳機能を基盤として成り立つ学習行動について理解するきっかけを作る。 ・発達障害の脳研究に触れる。 ・人の行動を科学的に追求する視点を涵養する。 授業方法: パワーポイントを利用した講義形式。毎回、資料を配布するので、授業時の説明事項を記入すること。 授業到達目標: <ul style="list-style-type: none"> ・人の行動が脳機能に裏付けられたものであることを理解できる。 ・人の学習力について脳機能と対応させて簡単に説明できる。 ・学習に関する脳機能研究が生活支援・教育的支援にもたらす影響について考えられる。 				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 授業は参考書の内容に沿って進める。学習に関する脳機能研究が何を明らかにしつつ、生活支援・教育的支援の考え方にどのように寄与することができるかについて平易に解説する。 第1回 オリエンテーション 第2回 脳の発達・発育 第3回 幼児の言葉と数 第4回 数学のための脳 第5回 読み書きのための脳 第6回 読みの学習とその障害 第7回 社会的発達・情緒的発達の障害 第8回 思春期の脳 第9回 生涯にわたる学習 第10回 記憶と想起 第11回 さまざまな学習法 第12回 脳の学習力を活用する 第13回 脳研究を支える技術 第14回 脳の学習力をめぐるトピックス 第15回 「まとめ」および「レポート出題」 下記参考書は脳の学習の入門書で且つ最新の知見にあふれています。興味のある方は、是非、通読を進めます。				
キーワード	脳、学習			
教科書・教材・参考書	配付資料・・・ファイリングし、いつでも参照できるようにしておくこと。 参考書・・・S. J. ブレイクモア, U. フリス:脳の学習力ー子育てと教育へのアドバイス. 岩波書店, 2006 ISBN:4-00-005797-9 2800円(税別)			
成績評価の方法・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加度:3割・・・単に出席していることではなく、能動的な発言や質問があるか、資料への説明事項の記入が的確になされているかを判定材料とする。 ・レポート:7割・・・配付資料や説明事項に関する理解度、授業のねらいの達成度についての設問を出題する。 ・4回以上欠席は自動的に不可。 			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	生命体としてのヒト、生活主体としてのヒト、社会的存在としての人間に興味を持って受講して下さい。			